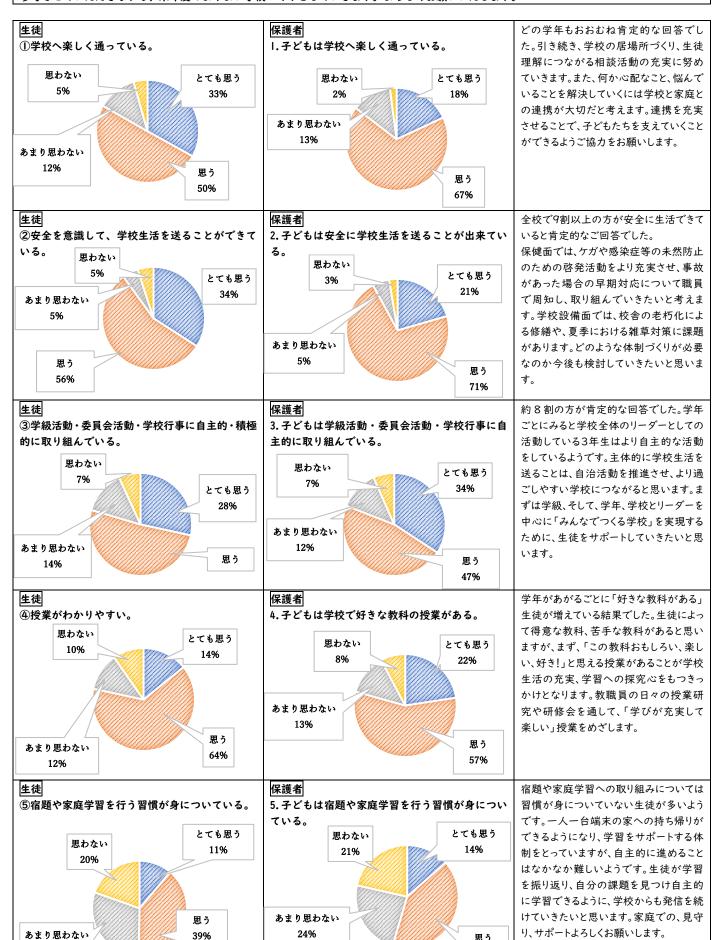
令和5年度 愛川中原中学校 生徒・保護者学校評価まとめ

令和5年度 生徒・保護者学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。集計とまとめについて、来年度の教育課程編成にむけて 参考させていただきながら、来年度のよりよい学校づくりをしていきます。よろしくお願いいたします。



思う

41%

39%

30%

生徒 保護者は6割、生徒は7割の肯定的な回 保護者 ⑥先生は学習を一人ひとりにていねいに教えてく 6. 教師は学習を一人ひとりにていねいに教えてい 答にとどまっていることから、今後、重点に 置き取り組む課題と受けとめています。 れる。 「どの生徒にも分かりやすい授業」をめざ 思わない とても思う 思わない とても思う すことは学校の教育目標の重点であり、 20% 8% 26% 23% 生徒一人一人の課題に寄り添い、学習を サポートできるようにより力を入れて取り 組んでいきます。教科を超えた教師間の 学習サポートの方法や、教科の取り組み あまり思わない あまり思わない の情報交換等、よりよい学習サポートにつ 思う 思う 8% 14% 52% いて研究していきます。 49% 生徒 保護者 令和4年度からの学習指導要領の改訂 7. 教師は各教科の評価についてわかりやすく説明 ⑦各教科の評価について、授業や学習相談会など に伴い、評価方法が変わり、単元ごとの評 でわかりやすく説明されている。 している。 価を実践しています。生徒は、各教科の授 業の中で単元ごとの学習プランや評価に とても思う 思わない とても思う 思わない 8% ついて説明がありますが、保護者の皆さ 20% 20% 28% んにとって戸惑いや心配な点があると受 け止めています。来年度4月に新たに「中 原学習ナビ」を学級懇談会で配布し説明 をする予定です。生徒は授業で、保護者 の皆様には面談などで質問に対応してい あまり思わない 思う あすり思わたい 思う 7% きます。 53% 14% 50% 保護者 生徒 生徒、保護者とも肯定的な回答が6割で ⑧相談ができる先生がいる。 8. 子どもは相談ができる教師がいる。 した。家庭や友達に相談をして解決してい る場合もあると思いますが、「相談したい とても思う とても思う 思わない 思わない けどできない」のであれば改善が必要で 17% 11% 29% 30% す。相談できる教師がいることで、早期解 決や円滑な解決ができることもあります。 「気軽に相談できる体制づくり」にむけ努 力します。(保護者の皆さま、お子様の悩 思う みや困り感に寄り沿い、学校のサポートを 45% 思う あまり思わない あまり思わない ありがとうございます。お困りの点があり 15% ましたら、お問い合わせください。) 生徒 一人一人の生徒の良いところを様々 SDGs への取り組みの一つとしての 保護者 ペーパーレス化にむけて、月に1度の **⑨先生は自分の良いところや努力** な活動の中から認め、伝えていくこと 9. 学校は学校だより、ホームページ、ブ したことを認めてくれる。 を、担任、学年、教科担当で連携を ログ等を通じて生徒や学校の様子を保 学校だよりの発行を A4 版両面で配 図り、教師チームで共有しながら、生 護者や地域に伝えている。 布し、日々の学校の様子やお知らせ についてはホームページ、ブログ、学 思わない 徒皆さんに声かけ、サポートをしてい とても思う とても思う 思わない 22% きたいと思います。そして、互いを認 校メールで配信しました。より多くの 14% 23% 27% め合う環境の中で、失敗を恐れず、 方に、見やすく、さまざまな分野をま あまり 努力の過程を大事にする活動を応 んべんなく配信できるように改善して あすり 思わな 援していきます。 いきます。 思わな þ 思う 思う 8% 47% 53% 6% 生徒 保護者 生徒と教師で「どんな場所が安心できる 10. 学校は生徒と先生で「誰もが安心して過ごす場 ⑩学校は、生徒と先生で、誰もが安心して過ごす 場所なのか」について対話をしていきな 場所をめざすことができている。 所」をめざすことができている。 がら、みんなの居場所となる学校づくりを めざしていこうと考えています。各教科の 思わない とても思う とても思う 授業、行事、生徒会活動・学級の係活動 思わない 31% 17% 6% を柱とした生徒の自治活動など、学校生

自由記述については、学習内容(授業・宿題など家庭学習、ICT の活用)や評価、学校のきまり(服装や給食当番)、学校環境の整備(トイレの 改修や除草作業)、登下校の安全など、よりよい学校を目指した多くのご意見やアイディアをいただきました。学校で共有し、教育活動に生かし ていきたいと思います。ありがとうございました。

あまり思わない

10%

思う

43%

思う

53%

活の様々な活動の基盤として、人権の尊 重、協働、共生を一緒に考えながら実践し ていきます。生徒の意見の中には、「先生

とレクをしたい」というものがありました。

コミュニケーションの時間をより大切にし

ていこうと思います。

30%

あすり思わない

10%